

「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校 子どもがいきいき、元気な学校」をめざして

晩成小学校は、明治7(1874)年に創立され、今年度で「149年目」を迎えます。創立時は「培擁館」という名称で発足し、明治9(1876)年には、「八木小学校」と校名を変更しました。その後、明治18(1885)年に「小房小学校」と合併し、現在の地に校舎が新築されました。

「晩成小学校」という校名は、「大器晩成」という郷土の人々の教育への願いを受け止める形で命名されたと言われています。本校の先輩方は、「明治」・「大正」・「昭和」・「平成」・「令和」と、時代は変われども、その素晴らしい校風を長きにわたってしっかりと受け継ぎ、晩成小学校としての輝かしい歴史と伝統を築き上げてこられました。

晩成小学校区は、古くからの『中街道(下ツ道)』と『伊勢街道(横大路)』とが交差する『札の辻』を中心として発達してきた街道町・宿場町であり、現在では、JR桜井線、近鉄大阪線・檀原線の鉄道をはじめ、国道24号線や同165号線が走る、奈良盆地南部の交通の要所ともなっています。近鉄八木駅・八木西口駅周辺には、檀原市役所・県立檀原文化会館・商業ビル・飲食店や、マンションなどが立ち並び、往来する人々でたいへん賑わっています。また、本校区の南部には、市立図書館・こども科学館などがある万葉ホール・市中央公民館市中央体育館などの公共施設があり、市内外より多くの利用者が足を運んでいます。

本校の教育目標は、「知・徳・体調和のとれた『いきいきとした子ども』の育成」です。子どもたちを晩成小学校の『めざす児童像』である「つよく・やさしく・かしこく」育てるため、「今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校 子どもがいきいき、元気な学校」をめざして、「チーム晩成」として、全職員が心をひとつに最善の努力をしてまいりたいと思います。

また、本年度も引き続き『人と人との関わりを広め、主体的に取り組む子の育成』を主題として、実践研究をすすめていきたいと考えています。

これまで同様に、保護者の皆様・地域の方々のご意見やご支援をいただきながら、「家庭」・「地域」・「学校」がしっかりとつながり、子どもたちを「安全に」、「健やかに」、また「心豊かに」育ててまいりたいと思います。晩成小学校教育に対しまして、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。